

ちよだ生物多様性推進プランに対する パブリックコメントの結果概要について

1. 概要

平成25年に都内でいち早く策定した生物多様性地域戦略「ちよだ生物多様性推進プラン」は、短期目標年次である2020年を迎えたことから、生物多様性に関する国内外の状況変化・社会情勢を踏まえながら、千代田区の生物多様性の2050年将来像に向けて、生物多様性推進プランを改定する。

2. 計画期間

令和6年度～令和12年度（2024年度～2030年度）

3. 推進プランで掲げる2050年将来像および2030年目標

2050年将来像 持続可能な自然共生の先進都市になっています

- ・豊かな生物多様性を活用した社会課題の解決
- ・持続可能なライフスタイル・社会経済活動の定着
- ・脱炭素社会の実現

2030年目標 千代田区ならではのネイチャーポジティブを実現します

皇居を核とした生態系のつながりが区内外に広がり、千代田区に集うすべての人が生物多様性を意識した持続可能な行動を選択することで、都心環境の豊かな暮らし・活動が支えられている

4. 2030年目標達成への戦略

【戦略Ⅰ】皇居の緑を核とした生態系ネットワークの形成・強化

1. 区内にとどまらない生態系ネットワークが多様な主体の連携により形成・強化されています。
2. 区内の生きものと生態系の情報をあらゆる主体が協働で収集・蓄積し、共有して、活用しています。

【戦略Ⅱ】自然共生社会を意識した行動の浸透

1. 生物多様性を守り育てる行動が次世代に引き継がれています。
2. 環境に負荷を与えることが少ない消費行動が根付いています。

【戦略Ⅲ】自然を活かした多様な社会課題の解決

1. 自然環境が持つ多様な機能（生態系サービス）を活かした解決策（NbS）により、持続可能なまちがつけられています。
2. 千代田区の取組事例がモデルとなり他地域で広く活用されSDGsの達成に貢献しています。

5. 意見公募の概要

- (1) 募集期間 令和6年2月20日(火)～令和6年3月4日(月)
- (2) 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール、区HP送信フォーム
- (3) 周知方法 広報千代田2月20日号掲載、区ホームページ、環境政策課、区役所2階区政情報コーナー、各出張所
- (4) 提出者数

区分	人数
在住者	3人
在勤者	1人
利害関係者	1人
合計	5人

(5) 意見数(延べ件数)

区分		件数
第2章 基本的な考え方と目標		1件
戦略Ⅰ 皇居の緑を核とした生態系ネットワークの形成・強化		3件
Ⅰ－1 区内にとどまらない生態系ネットワークが多様な主体の連携により形成・強化されています。		—
	【行動計画2】生態系ネットワークの強化に寄与する緑地・水辺の創出、維持管理をあらゆる主体が推進します。	1件
	【行動計画4】外来生物の侵入拡大を防ぎ、愛護動物を責任をもって飼育します。	1件
戦略Ⅱ 自然共生社会を意識した行動の浸透		—
Ⅱ－1 生物多様性を守り育てる行動が次世代に引き継がれています。		—
	【行動計画1】多様な主体と連携した体験学習の充実や学校教育を通して自然と共生する心をはぐくみます。	1件
Ⅱ－2 環境に負荷を与えることが少ない消費行動が根付いています。		—
	【行動計画1】環境への負荷の軽減を意識した行動や事業活動を推進します。	1件
全般的事項		1件
その他【推進プランの対象以外を含む】		2件
計		11件

(6) 意見の概要と区の考え方

資料2「ちよだ生物多様性推進プラン(改定素案)に対する意見概要及び区の考え方」参照